

「チーム茅ヶ崎西浜」進化と深化の1年に

～ 「満足」「笑顔」「期待」の獲得に向けて ～

校長 神戸秀巳

茅ヶ崎西浜高校の責任者として着任してから、3回目の春が巡ってきました。「情報と情熱」の提供を欠かさないように、改善に向けた「しくみ」「しかけ」「しつけ」に力を注ぎながら、これまで学校経営を進めてまいりました。

今年度は昨年4月に定めた「茅ヶ崎西浜高等学校グランドデザイン」の一層の実践と定着をめざし、着実に前進を図りたいと考えています。引き続き神奈川県立茅ヶ崎西浜高校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【教育目標】

- 基礎学力の充実と向上につとめ、豊かな情操と創造力を養う。
- 常に謙虚に学ぶ態度を身につけ、平和と人権を尊重し、自己の向上にたゆまず努力する人間を育成する。
- 自律的な生活態度を養い、誠実にして実践力をもち、信頼される人物を育成する。
- 気力、体力の充実につとめ、心身の健全な育成を図る。
- 命の大切さや他者への思いやりの精神を身につけさせるとともに、学校独自や市・地域と連携した防災訓練を実施することにより、学校防災力の向上をめざす。

【めざす学校像】

- 職員が明るく元気で、誇りをもって熱く語り、課題解決に向けて「考え続ける」学校
- 信頼され、社会に貢献できる人物の育成に向けて、積極果敢な教育活動を実践する学校
- 不祥事防止に組織的に全力で取り組み、地域や県民の期待にこたえようと努力する学校

【育てたい生徒像】

- あたりまえのことがあたりまえにできる人間
- 命を大切にし、他者との関わりの中で、他者への思いやりを発揮できる人間
- 何をすべきかを自らの頭で考え、心で感じ、自らの責任で判断し、自分の言葉で表現し、積極果敢に挑戦し、自ら人生を切り拓いていく人間

【校長として特に大切にしている想い】

- 「元気と夢は未来へのパスポート」
前向き、上向きの若者を育てることが将来性のある日本を創る
- 「私たちの前にいるのは生徒ではなく、“未来”である」
今をあきらめることは未来をあきらめること
- 「生徒は宝、職員も大事な財産」
職員のやる気が現場力（学校力）を向上させる

【平成25年度の行動指針（行動の基本となる方針）】

- 「相手視点」と「未来起点」を念頭に置いた危機管理体制の構築
- 新学習指導要領に基づき、健全な人間の育成をめざす質の高い教育の提供
- 県民のニーズに応え、顧客満足度アップに努める学校経営の実践

平成25年4月